

マスタの一例

医薬品マスタ

医薬品 コード	漢字名称	カナ名称	単位 コード	単位名称	...
620004650	ガスクール静注用200mg	ガスクールジョウチュウヨウ200MG	019	瓶	...
620004960	ガスコン散10%	ガスコンザン10%	033	g	...
612370013	ガスコン錠40mg	ガスコンジョウ40MG	016	錠	...
612370091	ガスコン錠80mg	ガスコンジョウ80MG	016	錠	...
620004961	ガスコンドロップ内用液2%	ガスコンドロップナイヨウエキ2%	036	mL	...
620003530	ガスサール錠40mg	ガスサールジョウ40MG	016	錠	...
620001993	ガスセプト散10%	ガスセプトザン10%	033	g	...
620001992	ガスセプト散2%	ガスセプトザン2%	033	g	...
620001994	ガスセプト錠10 10mg	ガスセプトジョウ10	016	錠	...
620001995	ガスセプト錠20 20mg	ガスセプトジョウ20	016	錠	...
610444041	ガスターD錠10mg	ガスターDジョウ10MG	016	錠	...
610444042	ガスターD錠20mg	ガスターDジョウ20MG	016	錠	...
612320349	ガスター散10%	ガスターザン10%	033	g	...
610406079	ガスター散2%	ガスターザン2%	033	g	...
612320417	ガスター錠10mg	ガスタージョウ10MG	016	錠	...
612320350	ガスター錠20mg	ガスタージョウ20MG	016	錠	...
620002922	ガスター注射液10mg 1mL	ガスターチュウシャエキ10MG	022	管	...
620002923	ガスター注射液20mg 2mL	ガスターチュウシャエキ20MG	022	管	...

マスタの使い方

- ・処方せん入力時の医薬品の選択
- ・選択された医薬品の使用量等のチェック

等

注:単位コードは単位名称に対応するコードでコンピュータで確実に取り扱えるように番号付けし区分したもの

医事システムのみでの処方せん運用(診療所等)



◎処方内容の入力

- ※点数算定用のため、通常、用法入力はない
- ※検査、処置等、他の診療行為も同時入力

◎又は、前回処方書の発行指示

レセコン

レセプト電算処理マスタ

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
1	Q.Y.	610406002	14 アスピリン錠10	12 アスピリン錠10	16	1錠	1	15.0			
2	Q.Y.	610406003	9 アスピリンM錠	13 アスピリンM錠	16	1錠	1	21.6			
3	Q.Y.	610406004	9 アスピリンD錠	13 アスピリンD錠	16	1錠	1	21.6			
4	Q.Y.	610406006	14 アスワートシロップ 0.5%	10 アスワートシロップ	30	2mL	1	1.4			
5	Q.Y.	610406008	9 アスピリン錠1mg	14 アスピリン錠1mg	16	1錠	1	10.7			
6	Q.Y.	610406008	13 アスピリン錠10mg	11 アスピリン錠10	16	1錠	1	15.0			
7	Q.Y.	610406012	11 アスピリン錠1%	11 アスピリン錠1%	33	1錠	1	10.4			
8	Q.Y.	610406013	10 アスピリン錠1mg	14 アスピリン錠1mg	16	1錠	1	8.5			
9	Q.Y.	610406015	14 アスピリン錠10	12 アスピリン錠10	16	1錠	1	12.7			
10	Q.Y.	610406020	22 アルカルロールカプセル0.25 0.25µg	16 アルカルロールカプセル0.25	15	4カプセル	1	81			
11	Q.Y.	610406021	20 アルカルロールカプセル0.5 0.5µg	15 アルカルロールカプセル0.5	15	4カプセル	1	135			
12	Q.Y.	610406022	16 アルセロン錠200 200mg	14 アルセロン錠200	16	1錠	1	7			
13	Q.Y.	610406027	12 アロステール錠 20mg	10 アロステール錠	16	1錠	1	9.4			
14	Q.Y.	610406028	14 アロステール錠10 10mg	12 アロステール錠10	16	1錠	1	14.5			
15	Q.Y.	610406029	11 アロステール錠10mg	9 アロステール錠	16	1錠	1	15.4			
16	Q.Y.	610406033	10 アンブロン錠 3%	11 アンブロン錠3%	33	1錠	1	9.4			
17	Q.Y.	610406034	12 アンブロン錠 20mg	10 アンブロン錠	16	1錠	1	9.4			
18	Q.Y.	610406035	12 イネスタン錠 50%	11 イネスタン錠	33	1錠	1	1.5			
19	Q.Y.	610406038	12 イネスタン錠 200mg	10 イネスタン錠	16	1錠	1	6.6			
20	Q.Y.	610406042	6 ウタゲン-U	9 ウタゲン-U	33	1錠	1	11.9			
21	Q.Y.	610406044	10 ウタゲン錠 5mg	9 ウタゲン錠	16	1錠	1	2.2			
22	Q.Y.	610406045	11 ウタゲン錠 5mg	10 ウタゲン錠	16	1錠	1	2.2			
23	Q.Y.	610406047	9 ウタゲン錠5mg	11 ウタゲン錠5mg	16	1錠	1	2.2			
24	Q.Y.	610406048	12 ウルベチン錠 5mg	12 ウルベチン錠	16	1錠	1	2.2			
25	Q.Y.	610406050	16 エスチロン錠400 400mg	14 エスチロン錠400	16	1錠	1	6.9			
26	Q.Y.	610406051	12 エスチロン錠 0.5mg	10 エスチロン錠	16	1錠	1	81			
27	Q.Y.	610406053	13 エマベリンシロップ5mg	15 エマベリンシロップ5mg	15	4カプセル	1	15.3			

処方せんの元ネタ発行

1日量

レセプト発行

1日量

◎担当医による内容確認、用法等の補記、署名

患者へ処方せんを交付し薬局へ

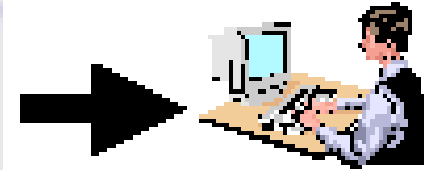
4

院外処方せんの流れ(内服薬の場合)

病院
診療所



薬局



レセコンで処方内容の入力

・内服薬の入力方法

薬剤名: マスタで管理された採用薬を入力

分量 : **1日量**を入力

用法 : システム内に登録された用法を入力
(同じレセコンでもコードは薬局毎に違う)

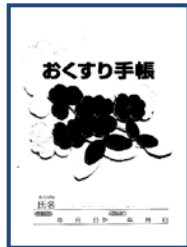
日数 : 調剤する日数を入力

投薬・会計

- ・お薬手帳
- ・調剤録
- ・薬歴簿

等に調剤した薬品の分量を記載
内服薬の場合、**1日量**を記載
・薬袋、薬情には**1回量**を記載

お薬手帳



薬歴簿



調剤機器

調剤機器への分量送信
1日量を送信し、調剤
機器側で**1回量**を算出



分包機等

それぞれのシステムの導入数

2008年度時点
JAHIS、新医療共同調査

システム	医療機関	規模 (ベッド数)	導入数	導入率 (%)
オーダエントリ システム	病院	400床以上	592	71.1
		全体	2003	22.6
電子カルテ システム	病院	400床以上	313	37.6
		全体	929	10.5
	診療所	10016	10.1	
薬局 システム*	レセプト電算 参加調剤薬局		46400	88.5

* : 支払基金本部2009年6月時点

処方せん記載方法の変更に伴う システム上の課題

1) 影響範囲

大中規模病院のシステムだけでなく、診療所や調剤薬局等、影響する機関(システム)が多岐にわたる

2) 薬局が混乱を招かないような様式、用法表現

3) 過去データの取扱い

4) その他

- 漢方生薬等への対応、最大量などのチェック仕様
- 一日量が一日回数で割り切れない場合の取扱い
- 診療報酬制度との関係
- 開発期間と費用 **システム改修ではなく、システム更新!**

システムの現状

一日量と一回量

- 現状の処方せん入力は、診療報酬制度（内服薬は一日量で算定）に依存している
- 自動錠剤分包機など、一包化を行っている調剤機器では一回量にバラしている
- 注射薬などは一回量（施用単位）で管理している
実施記録のためには最小単位での管理が必要
- 不均等投与指示は一回量指示そのもの



今でも混在している

医療安全の観点で

1) 対応案と実現に際しての課題

- ・ 一日量指示(現行記載方法)に一回量を併記

比較的速やかな対応が可能だが、根本対策ではなく対症療法にとどまる。

- ・ 一回量指示へ切り替え

目指すべき姿に近づくが、影響範囲が広く個別対応も多いため、速やかな対応が難しい。
また、一回量指示と一日量指示の処方せんが混在する過渡期における薬局の運用が課題。

医療安全の観点で

2) 標準化への取り組み

- 処方入力方法や画面構成等の標準化
- 医薬品や用法、各種指示マスタの標準化



各医療機関のシステム運用に伴う
人為的ミスの減少が期待できる

**JAHISは「i-Japan戦略2015」の一環として、
医療安全、および処方せんの記載方法の
標準化に貢献すべく、取り組んでいきます。**